

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 8 月 30 日(2023.8.30)

【公開番号】特開 2023-29365(P2023-29365A)
【公開日】令和 5 年 3 月 3 日(2023.3.3)
【年通号数】公開公報(特許)2023-041
【出願番号】特願 2022-197666(P2022-197666)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00(2006.01)

10

B 4 1 J 29/00(2006.01)

B 4 1 J 29/42(2006.01)

G 0 6 F 3/16(2006.01)

G 0 6 F 3/0484(2022.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 3 5 0

H 0 4 N 1/00 E

B 4 1 J 29/00 T

B 4 1 J 29/42 F

G 0 6 F 3/16 6 6 0

20

G 0 6 F 3/0484

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 22 日(2023.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

印刷機能を少なくとも備える画像処理装置であって、

第一のハードウェアテンキーと、スタートキーと異なる第二のハードウェアテンキーと、

を含むハードウェアテンキーと、

ディスプレイと、

前記ディスプレイ上に複数のソフトキーを含むジョブ設定画面を表示し、前記第一のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて、前記複数のソフトキーを含むジョブ設定画面の状態を切り替える切り替え手段と、

前記第一のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて前記ジョブ設定画面が所定の状態である場合に、前記第二のハードウェアテンキーが操作されたことに基づいて、前記ジョブ設定画面で設定された設定内容でジョブを実行する実行手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

40

【請求項 2】

前記第二のハードウェアテンキーは、前記複数のソフトキーのうち 1 つのソフトキーを選択する選択キーであり、かつ前記ジョブ設定画面が所定の状態である場合に前記ジョブ設定画面で設定された設定内容でジョブを実行するジョブ実行キーである、ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記第二のハードウェアテンキーは、数字が記載されたハードウェアテンキーであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

50

【請求項 4】

前記ジョブ設定画面にはジョブを実行するためのソフトキーが含まれないことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記所定の状態は、ジョブ設定画面の全体が選択状態となっている状態であることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記所定の状態は、操作可能なソフトキーが選択状態となっていない状態であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記所定の状態は、操作可能でないソフトキーが選択状態となっている状態であることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記所定の状態は、ジョブの設定項目に対応するソフトキーが選択状態となっていない状態であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記所定の状態は、タッチ操作を受け付けないソフトキーが選択状態となっている状態であることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記切り替え手段が前記複数のソフトキーのうち選択状態となるソフトキーを切り替える場合、切り替え先のソフトキーを説明するガイダンス音声を出力する出力制御手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

前記切り替え手段が前記複数のソフトキーのうち選択状態となるソフトキーを切り替える場合、切り替え先のソフトキーが選択状態となっていることを可視化するために、選択状態となっているソフトキーの表示形態を異ならせて表示するように前記ジョブ設定画面の表示状態を更新する更新手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 12】

前記ソフトキーには、ジョブの設定である第 1 ジョブ設定を変更する画面を表示するためのソフトキーが少なくとも含まれており、前記画像処理装置は、前記第 1 ジョブ設定を変更する画面を表示するためのソフトキーが選択状態となっている状態で、前記第二のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて、前記ディスプレイに前記第 1 ジョブ設定を変更する画面を表示することを特徴とする請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 13】

画像を印刷する印刷手段をさらに有し、前記画像処理装置が実行するジョブは、前記印刷手段を用いてシートに画像を印刷する印刷ジョブを少なくとも含むことを特徴とする請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 14】

原稿を読み取る読取手段をさらに有し、前記画像処理装置が実行するジョブは、前記読取手段で原稿を読み取って得られた画像に基づくデータを送信する送信ジョブを少なくとも含むことを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 15】

前記ジョブ設定画面が所定の状態である場合に、前記ジョブの実行に関する情報を音声で通知する通知手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 16】

10

20

30

40

50

画像処理装置の制御方法であって、
第一のハードウェアテンキーと、スタートキーと異なる第二のハードウェアテンキーと、
を含むハードウェアテンキーと、
ディスプレイと、
前記ディスプレイ上に複数のソフトキーを含むジョブ設定画面を表示し、前記第一のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて、前記複数のソフトキーを含むジョブ設定画面の状態を切り替える切り替えステップと、
前記第一のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて前記ジョブ設定画面が所定の状態である場合に、前記第二のハードウェアテンキーが操作されたことに基づいて、前記ジョブ設定画面で設定された設定内容でジョブを実行する実行ステップと、
—
を有することを特徴とする制御方法。

10

【請求項 17】

請求項 16 に記載のジョブ処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0007】

本発明は、印刷機能を少なくとも備える画像処理装置であって、第一のハードウェアテンキーと、スタートキーと異なる第二のハードウェアテンキーと、を含むハードウェアテンキーと、ディスプレイと、前記ディスプレイ上に複数のソフトキーを含むジョブ設定画面を表示し、前記第一のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて、前記複数のソフトキーを含むジョブ設定画面の状態を切り替える切り替え手段と、前記第一のハードウェアテンキーに対する操作を受け付けたことに基づいて前記ジョブ設定画面が所定の状態である場合に、前記第二のハードウェアテンキーが操作されたことに基づいて、前記ジョブ設定画面で設定された設定内容でジョブを実行する実行手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

30

40

50